

函館支部創立50周年記念式典・記念祝賀会

～地域住民と渡島管内行政とのパイプ役に向けて新しいスタートを決意！～

◇◇記念式典◇◇

平成22年9月24日午後5時より函館花びしホテルにおいて函館支部創立50周年記念式典・記念祝賀会が執り行われました。函館支部は佐藤聡支部長を中心に、2年前に創立50周年記念実行委員会を立上げ、記念式典委員会(委員長:福地隆祐)、1年前に社会貢献事業策定委員会(委員長:三上照美)、記念誌編集委員会(委員長:澤村洋子)、記念祝賀会委員会(委員長:原 隆俊)を設けこの日に備えました。

来賓を迎える受付台には紅色・桃色のコスモスが活けられ、北海道渡島総合振興局長 寺山 朗様、函館市長 西尾正範様、北海道運輸局函館運輸支局主席運輸企画専門官 池上孝義様をはじめとする渡島管内



会場入口



歴代支部長感謝状贈呈

の1市6町の首長、行政、経済、各士業団体、会員等80名を出迎えました。

式典は、佐藤聡函館支部長の式辞から始まり、物故会員への黙祷、歴代支部長(第7代:黒島宇吉郎氏、第8代:安保幸雄氏、第11代:鎌田節子氏、第12代:福地隆祐氏)への感謝状及び満40年以上行政書士業務従事会員(本間 新氏、原 隆俊氏、濱野淑雄氏)への表彰状の贈呈、記念事業の発表、寄付金の贈呈と続きました。



受付風景



寄付金贈呈

記念事業は三上社会貢献事業策定委員会委員長より発表がありました。平成22年9月4日函館緑の島で行われた「はこだてエコフェスタ」でのフリーマーケットに参加し、会員事務所・家庭からの余剰提供品売却であがった収益金と賛同会員の寄付金を合わせて北海道新聞社の社会福祉振興基金へ贈呈いたしました。北海道新聞社、函館新聞社の取材が入っており、北海道新聞道南版、函館新聞各紙面に掲載されました。

フリーマーケットでは購買者へ式典出席者に配られた行政書士徽章のデザインのコスモスの種が配られました。来年はこれらの種と会員事務所や家庭、函館のいたるところでコスモスが見られることでしょう。

来賓を代表して寺山北海道渡島総合振興局長は祝辞のなかで、行政書士で構成されている一般社団法人成年後見支援センターにふれられ、今後渡島地域でも社会的に必要な成年後見の分野での活動に期待を寄せていること、支援センターが重要な存在になることを述べられました。

また、西尾函館市長は祝辞の中で、『函館市自治基本条例』にふれ、「これからのまちづくりは市民参加・市民協働で進め地方自治の新しい流れにしたい。それには市民の権利擁護・義務の確立に行政書士が行政と市民の架け橋となってもらいたい。」と述べ、函館支部へこれまでの協力への感謝と今後なお一層の協力をお願いされました。

函館支部は、長年に渡る函館市役所内での無料相談会、成年後見制度の寸劇、市民公開講座等の行政支援活動を通して、行政側との信頼のパートナーとしての位置を確かにしたものにしました。



式典集合写真

◇◇記念祝賀会◇◇

記念式典終了後、記念祝賀会に入りました。函館商工会議所副会頭 森川基嗣氏の祝辞のあと、来賓の代表10名による鏡開きが北海道町村会副会長 脇本哲也知内町長の音頭によって行われ、祝盃をあげて始まりました。

祝宴では、記念誌名の発表が行われました。函館支部会員の応募10点から記念誌編集委員会が選考し、「絆」と決めました。10分間の「函館支部50年あの日あの時」のライドショー（記念誌編集委員会



鏡割り



ライド上映

委員：山口敏史、鈴木淳）、マリンバ演奏、そして終わりは函館支部恒例の出席者全員手をつなぎ輪になっての行政書士の歌「コスモス賛歌」の大合唱（高校三年生替歌）と盛りだくさんの演出でした。

函館支部創立50周年記念祝賀会は、函館地区士業連絡協議会の北海道社会保険労務士会函館支部長石田勉氏の万歳三唱のあと、記念祝賀会委員会 原 隆俊委員長のことばで閉会いたしました。

函館支部は渡島管内の住民と市町村を結ぶパイプ役として新しいスタートを切りました。このパイプが今後さらに優しく・強くなるようこれからの函館支部の取組みにさらに期待が集まることでしょう。



大合唱



歴代支部長（福地氏：鎌田氏：黒島氏）